

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公開番号】特開2015-214494(P2015-214494A)

【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-075

【出願番号】特願2014-96390(P2014-96390)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/97	(2017.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/97	
A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	8/37	
A 6 1 Q	19/08	

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ハスエキスと、(B) ジペンタエリスリトールと脂肪酸とのエステル化反応生成物と、を含む経皮投与用組成物。

【請求項2】

前記(A)ハスエキスがハス胚芽エキスである、請求項1に記載の経皮投与用組成物。

【請求項3】

前記脂肪酸がラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレイン酸、リチノレイン酸、イソステアリン酸、及び12-ヒドロキシステアリン酸からなる群から選択される1種である、請求項1又は2に記載の経皮投与用組成物。

【請求項4】

前記(B)エステル化反応生成物がトリポリヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリトールである、請求項1～3のいずれか1項に記載の経皮投与用組成物。

【請求項5】

肌の透明感、肌の弾力、及び肌の柔らかさからなる群から選択される1種以上を改善するためのものである、請求項1～4のいずれか1項に記載の経皮投与組成物。

【請求項6】

化粧料(ただし、医薬部外品を含む)である、請求項1～5のいずれか1項に記載の経皮投与用組成物。